

平成25年9月

# 高井絵理 学位論文審査要旨

主査 汐田剛史  
副主査 原田省  
同 岡田太

## 主論文

Parthenolide reduces cell proliferation and prostaglandin E<sub>2</sub> synthesis in human endometriotic stromal cells and inhibits development of endometriosis in the murine model

(パルテノライドは、ヒト子宮内膜症間質細胞の増殖とプロスタグランジンE<sub>2</sub>産生を抑制し、マウスモデルにおける子宮内膜症の形成を阻害する)

(著者：高井絵理、谷口文紀、中村和臣、上垣崇、岩部富夫、原田省)

平成25年 Fertility and Sterility 掲載予定

## 参考論文

1. The role of survivin in the resistance of endometriotic stromal cells to drug-induced apoptosis

(子宮内膜症間質細胞の薬剤誘導性アポトーシス抵抗性におけるサバイビンの役割)

(著者：渡邊彩子、谷口文紀、伊澤正郎、周防加奈、上垣崇、高井絵理、寺川直樹、原田省)

平成21年 Human Reproduction 24巻 3172頁～3179頁

2. Lipopolysaccharide promoted proliferation and invasion of endometriotic stromal cells *via* induction of cyclooxygenase-2 expression

(リポポリサッカライドはcox-2発現誘導によって子宮内膜症間質細胞の増殖と接着を促進する)

(著者：竹中泰子、谷口文紀、都田博子、高井絵理、寺川直樹、原田省)

平成22年 Fertility and Sterility 93巻 325頁～327頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、薬用ハーブの一種であるパルテノライドが、子宮内膜症間質細胞およびマウス子宮内膜症モデルに及ぼす影響について検討した論文である。子宮内膜症間質細胞において、パルテノライドはNF- $\kappa$ B経路を介してIL-8産生を低下させ細胞増殖を抑制すること、COX-2遺伝子発現を低下させてPGE<sub>2</sub>産生を抑制することが明らかとなった。マウスモデルにおいては、パルテノライドが病巣を縮小させ、腹腔内炎症を抑制することが示された。本成績からパルテノライドが子宮内膜症の新しい治療薬となる可能性が示唆された。本研究は新知見に富み、生殖内分泌学の学術水準を高めたものと認められる。